

パブリックコメント意見募集の結果公表（案）

第4期十勝定住自立圏共生ビジョン（原案）に対して、管内住民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見等について検討した結果、第4期十勝定住自立圏共生ビジョン（原案）の修正は行わず別紙のとおり最終案とすることとしました。

【意見募集結果】

案 件 名	第4期十勝定住自立圏共生ビジョン（原案）		
募 集 期 間	令和6年11月27日（水）～令和6年12月26日（木）		
意 見 の 件 数 （意見提出者数）	5件（ 1人 ）		
意 見 の 取 り 扱 い	修正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	2件
	参考	今後の参考とするもの	0件
	その他	意見として伺ったもの	3件
意 見 の 受 け 取 り	持参		0人
	郵送		0人
	ファクス		0人
	電子メール		1人

【意見等の内容】

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
町村の妊産婦は、帯広市の病院まで移動する必要があり、出産のリスクが高いと考える。また、移住転入の場合、親族などの頼れる人がいなく、女性一人で出産に立ち向かわなければならない。地方でも安心して出産ができるよう、タクシーまたは小型バスなどで広域を結ぶ手段が必要ではないか。	1件	【 その他 】 国は、遠方の施設で出産する必要のある妊婦に対する支援事業を設けており、地域の実情や妊婦の体調、サポート体制等を踏まえ、移動に伴う交通費等の支援など、市町村が個々の状況にあった支援を実施しているところです。 ご意見は、各市町村の取り組みの参考といたします。
地域では大学進学に対する意識が弱く、子どもたちの学力は二極化していると考え。大学進学率を上げることは親と子どもの2世代が、恩恵を受けると考えており、学力向上に対する施策を推進してほしい。	1件	【 その他 】 教育に係る施策については、北海道教育委員会や各市町村の教育委員会が、地域の実態に沿って進めているため、圏域の自治体が連携する定住自立圏の取り組みとして位置付けることは難しいと考えます。

パブリックコメント意見募集の結果公表

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
木質バイオマスや水力、地熱など、十勝はエネルギーのポテンシャルが高い地域と考える。生活に関わるエネルギーのほとんどをオール十勝で賄うことが可能と考える。長い道のりではあるが、ぜひ十勝一丸となって再生可能エネルギーの普及を進めてほしい。	1件	【 既記載 】 十勝管内 19 市町村では、地域に賦存する豊富なバイオマス資源の利活用を推進するため、十勝バイオマス産業都市構想を策定し、再生可能エネルギーの活用に取り組んでいます。また、全ての自治体においてゼロカーボンシティを表明し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みも進めているところであり、引き続き、再生可能エネルギーの普及に向け取り組んでいく考えです。
町村から帯広の高校へ列車で通学する子どもは1日の多くを移動に費やすことになる。その移動時間は、部活動や勉強時間に影響があり、高校生活の大きなハンデになっていると考える。移動という地理的なハンデをできるだけ解消し、各地域から高校までダイレクトに通学できるような路線を整備して欲しい。	1件	【 その他 】 管内町村から帯広市内の高校への通学については、鉄道路線が維持されている場合、路線バスの乗り換えにより移動手段が確保されています。また、鉄道路線がない場合も、直通のバスや路線バスの乗り換えにより、移動手段が確保されています。
世界的な人口爆発を背景に、十勝においても近い将来、地域住民が、十勝産の食材を食べられなくなることを懸念している。地域のものは地域で食べる、世界に対して十勝が今後も地位を確立していくためにも根本となる「食」は死守してほしい。	1件	【 既記載 】 十勝では、地域の強みである「食」や「農林水産業」を柱とした地域産業政策である「フードバレーとかち」を推進し、安全・安心な農畜産物が生産されています。また、地産地消を進めています。

【案件の最終案】

数値の修正や附属資料の追加などを行い、最終案を作成します。なお、附属資料のうち、事業費一覧については、確定版の策定後に公表します。